

生誕100年 ちひろカレンダー普及ニュース

発行：原水爆禁止日本協議会 電話:03 - 5842 - 6031
FAX:03 - 5842 - 6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com

2018年
8月30日
NO.1

2019年版ちひろカレンダー発送始まっています

【神奈川】 平和のねがいと被災地への思い

普及目標 5000本の突破に意気込む県原水協の笠木事務局長。いわさきちひろさんが心を動かされた戦争体験と平和を求めるねがい、そして画家としての素晴らしい作品をあらためて見直してほしいと生誕100年のつどいを計画中。

また、東日本大震災後、仮設住宅や被災した学校などカレンダーを届ける活動に継続し参加され、政府への怒り、生活の不安など直に話を伺ってきた笠木さん。オリンピックでますます置き去りにされてしまう被災者に寄り添い、カレンダー募金を今年も呼びかけています。

【埼玉】 公演成功にちひろカレンダー！

今年は前進座「ちひろ」の芝居を取組むことになった年金者組合埼玉県本部が例年より多い50本を注文。公演は11月ですが、盛り上げるためにも、ちひろカレンダーを活用したいと申し出ていただきました。この機会に今までは購入されたことのなかった方にも広がることを期待します。

【熊本】 原爆被害のおはなし紙芝居をした小学校で13本

熊本県下の小学校で、被爆者の工藤武子さんと被爆二世の柴山千寿江さんが紙芝居を行いました。国鉄職員だった深堀弘泰さん（元熊本市被団協会長）の被爆救援列車の話しを元に熊本被爆二世・三世の会が製作した紙芝居「長崎原爆被害のおはなしーいま私が伝えたいことー」です。4、5、6年生の子ども達が熱心に聞き質問も相次いだそうです。

紙芝居終了後、校長室に案内され、柴山さんがたまたま車に乗せていた「ちひろカレンダー」を校長室に飾ってほしいと思いプレゼントされました。すると、同席されていた担当の先生が「私もほしい」と言われ、職員室でとりまとめて頂き、13本買って頂いたそうです。

～事務局よりお願い～

- 今年から郵便局（ゆうパック）の送料が大幅に値上がりしました。1箱を2回注文するよりも、2箱（50本）まとめていただくと送料が1000円ほど安くなります。25本以上は日本原水協負担ですが、できるかぎりご配慮いただくと助かります。
- 細かい時間指定がある場合、または届け先によっては郵便局（ゆうパック）を使用することになります。25本以下の場合送料をご負担いただくこととなります。ご了承ください。
- 細かい時間指定はできませんが、運送会社（第一貨物）を使用することで送料を安くすることもできます。できるかぎり余裕を持った早めのご注文をお願いします。